



## 総会、今年も書面で

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度の総会も書面決議になりました。議案書をお届けしますので、議決権行使書に議案ごとに賛否の表決をお願いいたします。また、愛称募集投票も同時に同用紙で行いますので、(1)～(5)の中から一つだけお選びください。

同封筒に会費納入用紙も入っています。振り込みには振込用紙を、理事手渡しあるいは事務所持参の場合は会費納入書をお使いください。振り込みをすると手数料が会費から引かれます。会費を有効に使うためにもなるべく理事手渡し、あるいは事務所持参をお願いいたします。同窓会事務所は狭山元気プラザA棟2階西端の部屋です。7月12日(月)、13日(火)の10時～15時30分にお待ちしています。

返信用封筒で **7月14日必着**  
・議決権行使書 ・住所等確認書

会費納入は **7月中** にお願ひします  
・郵便局振り込み ・お近くの理事に手渡し  
・**7月12日13日**に同窓会事務所へ

### ● 『散歩の醍醐味』 二宮金次郎とスマホ ●

薫風香る五月初旬のある日、散歩の途中で柏原小学校の校門の前にある石像に目がとまった。鮮やかな若葉とは対照的に、古風な雰囲気醸し出していた。二宮金次郎の石像であった。頭部は苔むしていたが、表情は紅顔の美少年の面影を漂わせていた。石像下部の銅板に、レ(かえり)点のない漢文が彫られていて、緑青し始めていた。国語が嫌いで理系を選んできたためか、意味がよく解らない。小学生には理解できないであろうが、同じ年頃の少年が薪を背負って、歩きながら寸時を惜しんで読書に耽るひたむきな表情に、尊敬の念を抱くかもしれない。

石像に見入りながら、現在の「歩きスマホ」、「ながらスマホ」が危険極まりなく、社会問題になっていることに思いが及んだ。金次郎の時代は、電車・バス等の乗物がなく、しかも、通行人の少ない山間僻地でのことで、問題がなかったのであろう。最近のIT技術の進化に伴う携帯端末への「のめりこみ」は度が過ぎている。高齢者を除いた男女の多くが、ほとんど病気ではないか！高齢者の多くがIT難民で、時代の流れに乗り遅れているのが現実であるが、ビジネスが先行し、弊害・副作用に対する法整備が後手になっている。

米国4大IT企業GAFA(グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾン)の巨大化が止まらない。これらのIT企業はプラットフォームと称され、世界中の多くの人達が利用していて、今や生活の重要な基盤となっている。不透明な料金で、我が物顔で闊歩し、社会的に弊害・副作用(スマホ依存症、歩きスマホ、誹謗・中傷の短時間炎上等)をまき散らすのは断じて許しがたい。コロナ禍の追い風を受け、重大な社会的責任を認識しないまま、更に肥大化を続けている。

ここに至って、ようやく、規制方法を検討し始めた。遅すぎる！

金次郎石像とスマホの奇妙なミスマッチングを感じながら、小学校の前を通り過ぎて入間川沿いの遊歩道に出た。彩り溢れる花々の香りを、身体に受けながら、次回の散歩は、奥深く無限に変化する(自然)風景から、何を発見し、何を感じ取れるだろうかとわくわくしながら、帰路についた。

(Mさん)



## 活躍してます！同窓会員

同窓会にはいろいろな場で活躍している方がたくさんいらっしゃいます。今回は「稲荷山・山ゆりの会」の福田朝男さんの活動をご紹介します。福田さんは14名の仲間と稲荷山緑地保全地区の手入れをされています。広報さやま6月号にも会の活動が詳しく掲載されていますので、そちらもご覧ください。なお、今後も同窓会員のみなさまのご活躍を紹介していきたいと思えます。「こんな活動をしているよ」とお知らせください。



# 自生ヤマユリを見に 出かけませんか？

## … 稲荷山公園、見ごろは7月上旬～中旬です



### 里山の宝石「ヤマユリ」へのお誘い

福田朝男

本物のヤマユリを食べたこと、ありますか？

私の育った田舎は農家でした。田畑が広がり、周辺には山があり、小川が流れ、その中を飛び回っていました。晩秋になると、周辺の山々には栗や茸、山葡萄、木苺、グミ類、自然薯、そしてヤマユリなどの山の恵みが豊富に実りました。ヤマユリの球根は、母親が作ってくれたお正月の『ゆりきんとん』として供された最高の料理でした。そんな思い出のある植物ですから、身近な稲荷山公園の藪の中で大量に生育しているのを発見した時は心が躍りました。私はこの公園が好きで、度々散歩に訪れていました。その稲荷山公園の緑地保全地区でヤマユリの群生を発見したのです。

一般的に言われているヤマユリ群生地は栽培したか植えたものですが、ここのヤマユリは一本も植えていません。また肥料も施していません。100パーセント自生で、私たちはヤマユリの生育に良い条件を作るだけです。知り合いに東京都公園協会のやまゆり博士がおり、時々見に来ていただいています。博士の書籍や頂いた資料を読むと稲荷山緑地保全地区のヤマユリが群生地として存続するには30年以上必要です。

緑地保全地区は約6000坪あり、ヤマユリだけではなく、ヤマツツジやカタクリの群生地でもありました。それ以外にも非常に珍しいウラシマソウやムサシアブミも自生しています。近年手入れが行き届かず、地元でも藪公園と呼ばれていました。雑木が生い茂り、ツツジもクズなどのツル性植物に覆われて枯れかかり、悲惨な状態になっていました。どうかしたいとの思いで手入れを始めましたが一人の力ではすぐ限界に…。仲間に声をかけたところ賛同を得て、一緒に作業をすることになりました。この地を整備再生し、市民憩いの場とすべく、毎週作業を行っているところです。

「ヤマユリ」は日本固有の花です、発芽するまで2年、発芽後1輪開花するまで4年～5年かかる根気のいる花です。優雅な香りと清楚な容姿はゆりの中でも最も美しく、「ゆりの女王」と呼ばれています。里山の減少と共に、里山の環境に適応していたヤマユリも徐々に見られなくなりました。この狭山の地で初夏に咲く、魅力的で美しいヤマユリを是非体感してみてください。



### ヤマユリ自生地の場所



連絡先 山ゆりの会・福田  
☎ 080-1186-8355